

平成 19 年度 高等専門学校を活用した中小企業人材育成事業
超精密加工へのアプローチ実習コース 参加報告

実習工場班 船本 和重

1. はじめに

平成 19 年度高等専門学校を活用した中小企業人材育成事業
超精密加工へのアプローチ実習コースに参加したので報告します。

2. 概要

平成 19 年度 高等専門学校を活用した中小企業人材育成
超精密加工へのアプローチ実習

講義日時：平成 20 年 1 月 15 日（火）16:30～19:30	沼津高専テクノ多目的
1 月 16 日（水）16:30～19:30	沼津高専テクノ多目的
1 月 17 日（木）16:30～19:30	沼津高専テクノ多目的 実工
1 月 21 日（月）15:00～18:00	東芝機械精密加工センター
1 月 22 日（火）16:30～19:30	沼津高専テクノ多目的 実工
1 月 23 日（水）15:00～18:00	東芝機械精密加工センター
1 月 24 日（木）16:30～19:30	沼津高専テクノ多目的

会場：東芝機械（株）精密加工センター 新館 1F 教室 1

沼津高専テクノセンター多目的研究室及び実習工場

講師：東芝機械（株）精密事業部 技術顧問 勝木雅英氏

精密加工開発センター 近藤純久氏

沼津高専 技術室実習工場班 船本和重

コース概要：

超精密加工の手法を応用して、汎用機での加工精度を向上させる方策を学びます。
超精密加工の一手段としての補正加工法は、光学部品形状として多用される球面等の形状を旋削加工し、形状測定器により精密測定、さらに補正加工して精度を向上させるものです。本実習では汎用NC旋盤を使用し、同手法による精度向上に挑戦し、実務への応用が可能なレベルに到達することを目標とします。

4. 所感

実習終了直後の時間の参加で殆どが遅刻気味であったので、内容の完全な把握は困難であったが、Excelを使用した円弧補間を使用しない直線補間のみの球面のプログラム作成や超精密加工の表面荒さの内容等非常に参考になった。